

余市町地域公共交通網形成計画（案）の概要

●公共交通の課題及び方向性

○公共交通の課題

- ・郊外部等における公共交通空白地域への対応
- ・利用者ニーズに合った余市協会病院線の見直し
- ・需要に応じた交通形態による公共交通の確保
- ・どのような公共交通の輸送を実現するか、利用者の世代、移動目的等の設定

○公共交通の方向性

【余市協会病院線】

- ・子どもから高齢者の生活交通に対応できる町内公共交通としての見直し
- ・新たな運行収益が期待される地区等へのアクセスや通勤・通学利用に対応及び利用が少ない区間におけるルートの見直し

【郊外部等における公共交通空白地域の輸送】

- ・コミュニティバス、乗合タクシー及び定額タクシーの運行など新たな公共交通を確保して、幹線路線や余市協会病院線と連携・接続
- ・観光目的やレクリエーション目的の送迎方法について検討

【その他】

- ・高齢ドライバーを中心とした自動車運転免許証返納の促進
- ・余市駅周辺のバス停留所の集約化及び乗継ぎ拠点整備の検討

●上位・関連計画（関係する内容を抜粋）

○第4次余市町総合計画

まちづくりの目標 **“住み良く安心して暮らせるまちを創る”**

施策の大綱 **“人にやさしい機能的で快適な生活空間の創造”**

主要施策（公共交通）

- ・公共交通機関の維持・充実と高齢化社会を展望した町内公共交通の検討

○余市町都市計画マスタープラン

将来都市像 **“豊かな海と大地に抱かれた みんながいきいきと輝くまち”**

公共交通関係

- ・障がいのある方など誰もが安心して快適に暮らすことができる移動しやすい動線、バリアフリーな環境づくり
- ・JR余市駅を中心とした交通結節点機能を強化及び利便性の高い公共交通網の維持

○第5期余市町障がい者計画・障がい福祉計画及び第1期余市町障がい児福祉計画

基本理念 **“健やかで潤いと安ぎのあるまち”**

交通手段の確保と環境整備

- ・「低床式バス」や「乗降しやすいタクシー」の導入など、事業者等の協力を得ながら、障がいのある人が安全で自由に移動できる交通環境設備の充実
- ・障がいのある人の移動支援として、運賃等の割引制度の周知及び利用の促進

○余市町観光振興計画

余市町観光振興のテーマ **“よいち魅力発信”**

- ・余市町はウイスキー・ワインといった「お酒のまち」でもあることから、公共交通機関を利用して訪れる観光客に対する二次交通の整備により、町内での周遊を促して滞留時間を延長する。

●計画の基本的な方針

■ **地域が支え・育む持続可能な町内公共交通ネットワークの構築**

公共交通はみんなで使って残す・地域を支える・地域が育くむ

1. 市街地等における効果的な町内公共交通の見直し

2. 郊外部における地域に親しまれる新たな公共交通の運行

3. 高齢者及び障がい者などに配慮した福祉公共交通の充実

4. 乗継ぎなどバス待ち空間の快適性向上と将来における交通結節点機能の強化

5. 地域に根ざすための住民意識の醸成

●計画に位置づける取組み及び実施主体

スケジュール

取組み	1	2	3	4	5
【新たな余市協会病院線（(仮称)余市循環線）の運行】	○	○	○	○	○
【郊外部における新たな公共交通の運行】	○	○	○	○	○
【観光タクシー等の運行が可能な環境づくり】	○	○	○	○	○
【福祉タクシー車両導入方法の明確化】	○	○	○	○	○
【(仮称)余市循環線における低床式バスの運行（通院時間帯）】	○	○	○	○	○
【JR余市駅における交通結節点機能の強化】	○	○	○	○	○
【郊外公共交通との乗継ぎなどバス待ち協力施設の確保】	○	○	○	○	○
【バスシェルターの設置】	○	○	○	○	○
【ICTを活用した公共交通サービスの向上】	○	○	○	○	○
【自動車運転免許証返納の促進】	○	○	○	○	○
【高齢者向けモビリティ・マネジメント】	○	○	○	○	○
【小中学生向けモビリティ・マネジメント】	○	○	○	○	○

【新たな余市協会病院線（(仮称)余市循環線）の運行】

- ・従来の通院・買い物目的に加え、通勤・通学目的に対応して安定的な収益を確保
- ・利用が少ない区間の見直しと幹線バス路線等との重複解消
- ・JR余市駅における夜間の乗継ぎ交通の検討
- ・紅志高校スクール便との一元化検討（登下校の利便性向上が前提）

○実施主体及び協力団体：行政、交通事業者、利用者

【郊外部における新たな公共交通の運行】

- ・地域の住民の意向も踏まえ、どのような公共交通が良いのかをともに考える
- ・コミュニティバス、乗合タクシー、あるいは定額タクシー等の運行
- ・「栄・登方面」、「美園・山田方面」、「梅川・沢・豊丘方面」の3方面の運行

○実施主体及び協力団体：行政、交通事業者、住民

【観光タクシー等の運行が可能な環境づくり】

- ・「お酒のまち」の特性を活かし、新たに協力可能なワイナリー等を巡る観光タクシー等の運行が可能となるような環境づくりと働きかけ（ワイナリー等と事業者等のマッチング）

○実施主体及び協力団体：行政、観光協会、交通事業者、旅行代理店

【福祉タクシー車両導入方法の明確化】

- ・障がいのある人の生活環境確保を支援するために、福祉タクシー車両の導入の実現性について情報の収集と提供により、関係者との協議を重ね導入の方向性を明確化

○実施主体及び協力団体：行政、社会福祉協議会、交通事業者、介護事業者

【(仮称)余市循環線における低床式バスの運行（通院時間帯）】

- ・通院時間帯の運行における低床式バスの効率的配車の検討

○実施主体及び協力団体：行政、交通事業者

【JR余市駅における交通結節点機能の強化】

- ・JR余市駅周辺のバス停留所の集約配置及び公共施設複合化等による乗継ぎ拠点についてプランを作成して関連機関と調整

○実施主体：行政、交通事業者

【郊外公共交通との乗継ぎなどバス待ち協力施設の確保】

- ・(仮称)余市循環線と郊外公共交通間の乗継ぎで、バス路線周辺施設におけるバス待ち協力施設を確保

○実施主体及び協力団体：行政、交通事業者、店舗・事業所

【バスシェルターの設置】

- ・施設でのバス待ち空間の確保が困難で設置スペースが確保されている場合等におけるバスシェルターの設置

○実施主体：行政、交通事業者

【ICTを活用した公共交通サービスの向上】

- ・バス待ち協力施設において、スマートフォンを使ったバスロケーションシステムやデジタルサイネージ等について、妥当性検証による導入検討

○実施主体：行政、交通事業者、店舗・事業所

【自動車運転免許証返納の促進】

- ・高齢ドライバーによる自動車交通事故の防止のために、余市町交通安全推進協議会が実施している「運転経歴証明書交付手数料助成制度」について、高齢者向けモビリティ・マネジメントや公共交通時刻表等により情報を発信

○実施主体及び協力団体：行政、住民、警察、交通事業者

【高齢者向けモビリティ・マネジメント】

- ・バスの乗り方ガイド、時刻表や路線図の見方・調べ方、高齢者と交通事故の現状及び改正道路交通法による運転免許更新の説明などが入った冊子の製作
- ・高齢者に向けた公共交通教室及びバスの乗り方教室を開催

○実施主体及び協力団体：行政、社会福祉協議会、住民、交通事業者

【小中学生向けモビリティ・マネジメント】

- ・授業実施・乗車体験、リーフレット等の教材、夏冬春休みの企画切符の販売

○実施主体及び協力団体：行政、教育委員会、小中学校、小中学生、交通事業者

●取組みの目標

- ・輸送人数：20%増(2017年→2023年)
- ・1方面以上の本格運行
- ・協力可能なワイナリー3箇所以上と協力体制構築
- ・導入の可否と方法の明確化
- ・1便/日 以上
- ・再整備の課題明確化
- ・3箇所以上
- ・必要箇所数と設置スペースの状況把握
- ・導入に向けての課題把握
- ・返納者数55人/年以上
- ・老人クラブに併せたモビリティマネジメントの開催 1回/年 以上
- ・小中学校でモビリティマネジメントを開催(小中学校の各1校1回/年 以上)